第5回
庄内川タイムライン検討会
図上訓練

説明資料

1. 訓練の目的と概要

1-1. 訓練の目的

- 本訓練は、現在、検討中のタイムラインを参考にしながら、以下の確認を行うことを目的としています。

  - ◆ **各防災行動項目に不足や不整合がないかどうか。**
  - ◆ **各防災行動項目の実施タイミングが適切かどうか。**
  - ◆ **情報共有や連絡調整に過不足が生じていないかどうか。**

- 検討中のタイムラインについて、**課題を多く抽出することが目的**です。

- 進行側では各主体が多くの課題を抽出できるようにイベントを付与するようにしており、各機関が対応に苦慮することを織り込んだシナリオ設定をしています。

- タイムラインの取り組みは始まったばかりであり、タイムラインの検証を目的とした訓練も事例がありません。リーディングプロジェクトとして訓練・検証手法を模索することも今回の取り組み目的です。

1-2．具体的な訓練方法

○防災行動の訓練方法

（1）自己完結型行動（例：資機材の確認・準備等）

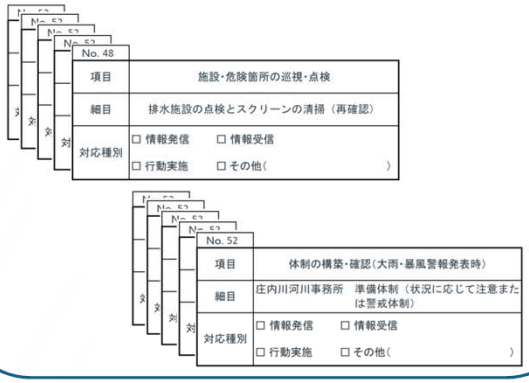
- 「防災項目カード」を「図上訓練用記録用紙」に貼り付け

（2）特定機関周知型行動（例：庄内川の氾濫注意情報など）

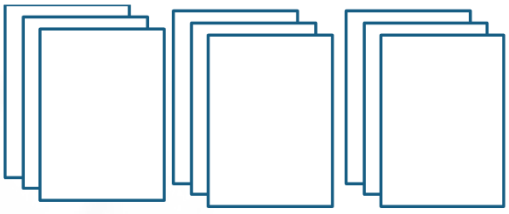
- 「防災項目カード」を「図上訓練用記録用紙」に貼り付け
- 「情報・対応整理票」に必要事項を記載の上、周知する機関へ配布

○配布資料

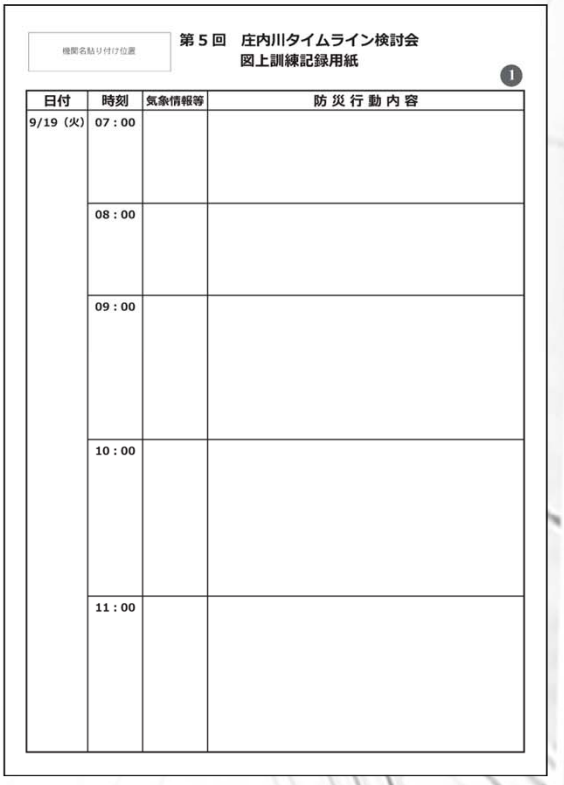
防災行動項目カード（3セット）
（タイムライン素案に記載のあるもの）



情報・対応整理票シート
（＋カーボン紙）



図上訓練記録用紙（A0）



１-３．シナリオの進行について

（１）時間の進行について

- シナリオ時間の進行は、**１時間の進行を原則、実時間の１０分**で進行します。

（２）台風の進路について

- 台風の進路は、**１時間毎の進路を常時メインスクリーンに表示**します。

（３）訓練の進行方法はブラインド方式

- 今回の訓練では**想定シナリオを伏せた**形で進行します。

（４）課題検証のための「イベント情報」

- 現行のタイムラインにおける課題を議論することを目的とした、いくつかの「イベント情報」を進行役より付与します。

2. 想定シナリオ

2-1. 想定シナリオ

（仮想水害シナリオ）

- 20XX年9月15日（金）に日本の南海上で発生した台風を想定。最大中心気圧（940hp）程度の台風が接近し、台風による強い雨が降り始め、庄内川の水位が上昇し、台風が名古屋最接近時に破堤する。

この後の訓練は、大雨・洪水警報が発令した、**20XX年9月20日（火）6:00**を開始時間としてスタートします。